

# 城址の丘

吹上中学校 教育スローガン



笑顔と感動あふれる吹上中

吹上中学校だより

令和6年11月号

文責:校長 北條

ホームページQRコード



窓

## いぶき祭(10/24)～見せた!魅せた!吹中生の底力!!～



2学期に入り、本格的に練習や準備を進めてまいりました合唱コンクールといぶき祭が開催されました。午前の合唱コンクールは、どのクラスも甲乙付け難いすばらしい合唱が演奏されました。特に、中学校最後になる3年生の合唱は、大きな口を開け全身で表現し、クラスが一体となった感動する演奏となりました。審査員の方や地域の方々からも「感動しました!」と声が



寄せられるほどでした。邦楽部演奏や英語スピーチ、広島平和記念式典派遣報告も立派に披露してくれました。午後の部門別発表では、「切り絵・ちぎり絵アート」「モザイクアート」「トーンチャイム」「ダンス」「和太鼓」「演劇」「クイズ」と、どの部門も3年生が後輩たちを引っ張り、工夫満点!迫力満点!笑い満点!!の発表となりました。いぶステも例年通り、会場が一体となって盛り上がりしました。3校統合を控え、「いぶき」と付く文化祭はあと1年になるかもしれません。しかし、いつまでも響く歌声、舞台上で輝く笑顔は、これからも吹中生の心に一生残ることでしょう。



学年優秀賞



「いぶき」祭もあと1年

## 1年生3校交流会(10/11)

本校の体育館にて、本校・皆川中・寺尾中の3校で1年生の交流会を開催しました。3校が混在したチームに分かれ、「震源地ゲーム」「ドッジビー」を行いました。このメンバーが令和8年度栃木北中3年生になります。最初は緊張した様子が見られたものの、徐々に打ち解け大いに盛り上がり、少しお互いの距離が縮まったようです。



## 栃木北中制服投票(~12/2)

「着心地の良さ」「手入れのしやすさ」「耐久性」を踏まえて3種類を候補とし、本日まで本校に展示されました。男女兼用ブレザーで、ネクタイとリボンは選択制、スカートとスラックスを兼用することができますので、組合せ自由ということになります。ブレザーは紺・黒系になりますので、違いはネクタイとリボンの色、スカートとスラックスのチェック柄になります。よく考えて期日までに投票をお願いいたします。



## ご結婚おめでとうございます。

本校の〇〇〇〇教諭と前職員の〇〇〇〇教諭が、9月にご結婚なされ、いぶき祭のステージで生徒たちからサプライズのプレゼントがありました。末永くお幸せに!







## 県新人体育大会 (10/15～20)

### 【卓球部】団体第3位



団体戦 1回戦 3-1(vs茂木)、2回戦 3-1(vs大田原)  
準々決勝 3-2(vs益子)、準決勝 0-3(vs鹿沼東)  
女子シングルス 2回戦進出 ○○○○



### 【陸上競技部】

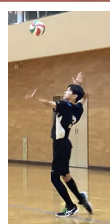
1年女子100m 第5位 ○ ○○  
1年男子110mH 決勝進出ならず ○○○○



### 【男子バレーボール部】第3位



1回戦 2-1(vs宮の原)、2回戦 2-1(vs古里)  
準決勝 0-2(vs清原)



### 【ハンドボール部】第3位



1回戦 25-15(vs小山三)、  
準決勝 21-32(vs栃木NHC OWLS)



**H C 栃木 男子優勝**



吹中最後の夏に向けて  
この冬に心身共に  
鍛えよう。

**吹中生**

**Fight!**

## 地区駅伝競走大会 (10/22)

【特設駅伝競走部】第15位 本年度も全校生徒から募集をかけ、9月初旬より朝練を中心に練習をしてきました。1・2年生主体ということで、厳しい戦いになりましたが、最後まで全力で襷をつなぎました。この選手たちが今月末の校内駅伝大会で活躍することを期待しています。



## 県学校音楽祭中央祭 (10/29)

【邦楽部】銀賞 「合奏の部」県内37校が参加した中央祭の36番目に登場し、地区と同じ和楽器八重奏『MIRAI』を演奏しました。地区よりも大きなホールで少人数での演奏になりましたが、気持ちよく演奏し自分たちの力を出し切ることができました。



## 4階から見える風景～太平山をバックに大輪の花～



4階から見える風景は吹上中で私が一番好きなところなんです。今年も「いぶき祭」の最後を飾る約10分間のミニ花火大会が行われました。昨年は真下から見上げましたが、今年はその大好きな4階から見えました。下からは生徒たちの大きな歓声が上がり、太平山をバックに綺麗な大輪の花を咲かせました。今年は曇り空であったため早くに暗くなり、伊吹山から見下ろす夜景に花火が周囲を赤く照らす幻想的な風景を見て大変感動しました。私がこの風景を見るのは最後になりますが、来年、再来年と栃木北中になっても、この感動を味わうために続けたいという生徒の強い意志があれば、保護者や地域の方々、先生方から力を借りて続けられるものと思うし、「自分たちの手で続けるんだ!」という、そんな吹中生(北中生)になることを期待しています。